



こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2019 秋号



地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

普賢岳とコスモス
撮影 地域医療支援センター 森本

Contents

- ・看護部長に聞く
患者さんがその人らしい生活を過ごされるために
看護部長 田中 静子(認定看護管理者)2・3
- ・連携医療機関のご紹介
山崎産婦人科医院
医療法人博愛会 哲翁病院4
- ・市民公開講座を開催しました5
- ・さろん・いさんて様より絵画作品をご提供いただきました5
- ・部門トピックス
院内がん登録室 院内がん登録とは6
- ・部門トピックス
リハビリテーション科 ICU(集中治療)病棟での早期離床に向けた取り組み7
- ・おうちで簡単!おいしい kitchen「秋刀魚ときのこの炊き込みご飯」8

病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に、病診連携・保健・福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として、活力ある病院づくりを進めます。



患者さんがその人らしい生活を過ごされるために



看護部長 田中 静子
(認定看護管理者)

看護部長からのメッセージ

社会は 2025 年問題を抱え、地域包括ケアシステムの進化・推進、介護保険制度の持続可能性の確保に向け、医療・介護・福祉が一体となって取り組んでいくように施策が打ち出されました。「医療」と「生活」の両方の視点を持ち、サービス全体を統合的にマネジメントできる高い能力が看護師に求められています。看護理念は「あらゆる健康レベルの患者さんが、その人らしい生活を過ごされるために（私たちは）専門職として自律した行動と責任を果たします」とし、固定チームナーシングにより、看護職員のスタッフ一人ひとりが持つ能力・個性を生かし、チームで支えあい、高めあえる関係性を構築し、“心のこもった質の高い看護”をスローガンにしています。地理的な不利はありますが、院外研修や学会へ参加し、一人ひとりがやりがいを持ち、ともに学び、ともに育ち、イキイキと笑顔で働ける職場づくりとして、「キャリア開発ラダー」の教育システムを基盤に人材育成に取り組んでいます。

当院では患者さん・ご家族の声を聴かせて頂ける「ありがとうポスト・ご意見箱」を設置しています。特に看護師は 24 時間患者さんの傍に寄り添い、看護ケアを提供しています。患者さん・ご家族からの「ありがとう」の声がモチベーションアップにつながり、組織が活性化され、患者満足度を高め、医療の質の向上へと好循環となっており、大変嬉しく思っています。**“患者の声は宝”** と思い、大切にしています。

最近頂いたくありがとうメッセージ<ご意見箱メッセージ>をご紹介します。

「あと、2 年で金婚式を迎える夫婦です。人生初の入院（手術）に右往左往する中、親切・丁寧に対応頂き只々感謝の一言です。担当医師と看護師の皆さんの連携に拍手。家族と親族の絆が強まり、感謝です。」



「入院中、昼も夜もいやな顔一つせず、笑顔でお世話をして下さいました、看護師の皆さんに心から感謝致します。お蔭様で心安らかな入院生活でした。」

「入院中、看護師さんしないで、〇〇号室担当の〇〇です。と挨拶に来る人とこない人がいます。個人の自由なのですか？挨拶に来てもらおうと安心します。」

認定看護師情報

当院は 2019 年 8 月現在、7 領域 8 名の認定看護師が活動を行っています。

活動は、専門分野としてだけでなく、医師や薬剤師、リハビリテーション療法士、管理栄養士等との職種を超えたチームで、また、複数の認定専門分野が患者さんやご家族の状況に応じて連携した関わりを持たせていただいています。

感染管理 1 名、皮膚排泄ケア 1 名、救急看護 1 名、脳卒中リハビリテーション看護 1 名、緩和ケア 2 名、がん薬物療法看護 1 名、がん放射線療法看護 1 名

特定行為研修修了！おめでとうございます。

チーム医療を推進し、看護師がその役割をさらに発揮するため、2014 年 6 月に「特定行為に係る看護師の研修制度」が創設され、2015 年 10 月から研修制度が開始されました。21 区分 38 の特定行為を駆使して、地域医療を支えるべく果敢に対処できる看護師です。当院には、以下の特定行為区分の研修を修了した看護師が誕生しました。

救急・集中ケアモデル

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
呼吸器(気道確保に係るもの)関連
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連
動脈血液ガス分析関連
循環動態に係る薬剤投与関連



救急看護認定看護師
木村 美智留

各病棟・外来の紹介 看護PR



教育担当
副看護部長
小松 美佳



業務担当
地域医療支援センター副センター長
兼副看護部長
松尾 美津子



手術室

看護師長
高原 弥生

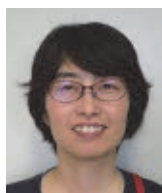
年間手術件数は約 1,340 件で、手術室数 5 室、外科・整形外科・脳外科・泌尿器科の手術を行っています。多職種と関わり、チームで手術をやり遂げる達成感を味わうことができる部署です。



ICU病棟

看護師長
飛永 智恵

疾病・手術・事故等により重篤な状態の患者さんが入室されます。私たちは安全で安心できる専門性のある看護を集中的に提供しています。また、地域脳卒中センターとして、脳神経外科の医師と共に運動・意識障害のある患者さんの発症早期からの治療に努めています。



3階東病棟

看護師長
植田 和恵

脳神経外科と整形外科（周手術期）の混合病棟です。8 割近くが緊急入院のため、常に受け入れ体制を整えています。急性期から早期にリハビリテーションを行い、多職種チームで早期離床・機能回復支援を行っています。



4階東病棟

看護師長
吉田 智恵美

消化器内科・血液内科・循環器内科・総合内科の混合病棟です。多様な患者さんを受け入れており、患者・家族のニーズに答えられるように日々多職種でカンファレンスを開き、情報共有や問題解決の場になっています。



4階南病棟

看護師長
廣瀬 えり奈

呼吸器内科・泌尿器科・麻酔科・感染症の 50 床の病棟です。様々な資格を持ったスタッフがおり、化学療法・放射線治療・緩和ケア等のがん看護や泌尿器科の術前術後管理、人工呼吸器管理を患者ファーストで頑張っています。



5階東病棟

看護師長
田中 敬子

外科・整形外科・小児科の混合病棟で乳幼児から高齢者と幅広い年齢層の患者さんがいます。手術前後の管理、苦痛の緩和に取り組んでおり、元気になって退院される患者さん・御家族の方の笑顔にやりがいを感じます。



5階南病棟

看護師長
菅 忍

地域包括ケア病棟は、急性期治療を終了し、直ぐに在宅や施設退院するには不安のある患者さん、在宅・施設療養中から緊急入院となった患者さんに対して、在宅復帰に向けて多職種と協力し、診療・看護・リハビリテーションを提供しています。



外 来

看護師長
溝田 吟恵

18 診療科の外来診療と二次救急、ホットラインに対応しています。部門目標は①安全・安心な外来診療、検査、看護を提供する。②病棟と連携を図り、円滑な継続看護を提供する。③患者さん・ご家族に対し思いやりのある態度で接する。を掲げています。

連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

山崎産婦人科医院

院長 山崎 健太郎先生

長崎県島原市湊町350 ☎0957-64-1103

人間の持つ生命力や回復力の強さを最大限に生かす診療を目指して

当院は 1947 年に開業し、今年が 73 年目になります。院長としては私が三代目になる産婦人科医院です。

私の専門は、周産期超音波検査と出生前診断を始めとした遺伝学になります。女性の診療を通じて感じるのは、人間の持つ生命力や回復力の力強さです。患者さんに関わる医療スタッフはその力を分けてもらっていると感じており、それを最大限に生かす診療を目指しています。

産婦人科は女性のかかりつけ医として、何でも相談できる場所であり、治療や手術など、一通りの事はワンストップでできます。

しかし、当たり前のことですが、他科の先生や島原病院にお世話になる事は色々あり、そのたびに地域の繋がりに感謝しています。

これからも島原病院を中心に、医療機関同士の繋がりでなく、医療関係者、妊婦さんや患者さんが繋げる一員として、当院も協力していきます。そして、地域の繋がりを活かして、皆が発展できるよう頑張ってまいりますので、これからもご支援をよろしくお願いいたします。



医療法人博愛会 哲翁病院

院長 哲翁 和博先生

南島原市口之津町甲1181 ☎0957-86-3226

博愛の精神をもって…

当院は、1913年(大正2年)開院。地域に寄り添い、医療・看護・介護を提供し創立106年を迎えました。南島原市の中核病院として地域包括ケア病棟43床、療養病棟45床を有し地域住民の健康の維持、向上に努めております。長崎県島原病院をはじめとして基幹病院及び、近隣の医院との病診連携を行い、在宅復帰を目指し退院調整を行っています。地域の高齢化が進む中、本人・家族を中心としてその人らしい生活が送れるようサポートしております。眼前には口之津港を臨み、患者さんや職員の心の癒しとなっています。当院には、体育会系では女子バレーボール部、マラソン部、文化系では写真部同好会があり、大会や、文化祭に参加しています。活気と笑顔のある職場につながっているのではないのでしょうか。これからも、皆様からのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



市民公開講座を開催しました

脳卒中市民公開講座 テーマ：あなたの血管大丈夫？～脳卒中の治療と予防～



9月21日（土）島原文化会館大ホールにて脳卒中市民公開講座を開催し、177人のご参加を頂きました。ご来場の方の年代も20歳代から80歳代まで様々で講演の先生方のお話を高い関心を持って聞いていただけたようです。アンケートでは、「わかりやすかった。毎日の生活に取り入れたい。」などの感想をいただき、脳卒中の予防について治療・運動・栄養に関する情報提供ができたのではないかと思います。脳卒中連携施設の皆様の多数のご協力を頂きありがとうございました。

がん市民公開講座 テーマ：あなたは本当に大丈夫？～大腸がん 発見から最新の治療法まで～

10月5日（土）島原文化会館大ホールにてがん市民公開講座を開催し、146人のご参加を頂きました。最新の大腸がん治療の内容に皆様熱心に見入っておられました。多くの質問もあり、アンケートには「必ず検診に行きます。」との回答を頂き、有意義な講義となりました。来年の市民公開講座も多くの方のご参加をお待ちしております。



さろん・いさんて様より 絵画作品を ご提供いただきました

令和1年10月24日（木）「島原文化連盟美術グループ さろん・いさんて」（代表 松本 守 様）会員様より絵画作品の提供がありました。今年で活動73年目の歴史ある絵画サロンです。今年で8回目の絵画提供をいただきました。和気あいあいと楽しそうな様子が絵画からも伝わってきます。今年も力作ぞろいの素晴らしい作品ばかりです。ぜひご鑑賞ください。毎月第1、第3日曜日13時から霊丘公民館で活動されています。会員募集中です！



院内がん登録室

院内がん登録とは

診療情報管理士 岩永 聖奈
(院内がん登録実務中級者認定)

病院で「診断・治療」されたすべての患者さんのがんに関する情報を、診療科を問わず病院全体で集め、データベースに記録・保管・分析・管理する仕組みです。(下記図参照)

データの一つにまとめて集計・分析することによって、がんの発生状況、がん医療の実態を把握し、がん医療の向上や、がん対策の策定・評価に資するデータを整備することが、がん登録の目的です。

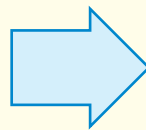
1. **がん医療の質の向上**
病院ごとの特徴や問題点などが明らかになるものと期待されています。
病院のがん診療の特徴がよくわかります。
2. **情報公開**
どの県で、どのがんに対して、どのような治療が行われているか、専門的ながん医療を提供する医療機関の実態の把握ができます。
3. **がん対策の充実**
情報を公開することにより、がんと診断された患者さんやその家族等が、治療する医療機関を決めるための資料となります。

当院は 2007 年 1 月長崎県地域がん診療連携拠点病院に指定され院内がん登録を行っています。

地域がん診療拠点病院 (全国 325 病院、長崎県 5 病院 (当院含む))



院内がん登録
・ 診断、治療の内容などがん診療情報の登録
99 項目
(法令で定められた全国がん登録 26 項目含む)
・ 予後調査 (3.5.10 年) 及び登録



国 (国立がんセンター)

院内がん登録データベース

病院のがん医療に関する
情報の一元管理
・ 病院の特徴
・ 問題点



◆院内がん登録の資格

当院では国立がんセンターの専門的な研修を受講した 3 名で登録を行っています。
登録したデータは集計し、がん診療の質の向上とがん患者さんの支援を目指し資料の登録や提供を行います。



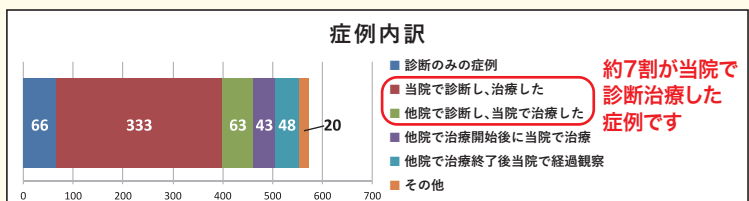
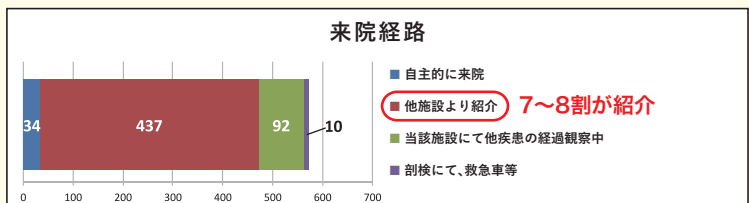
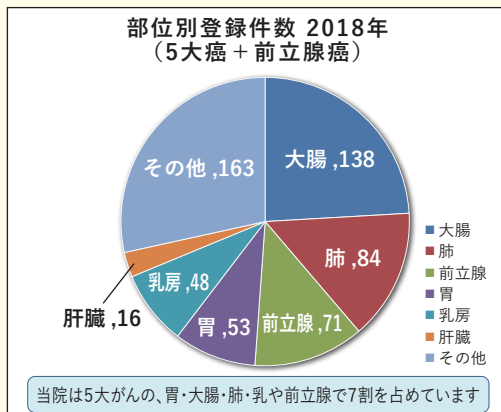
年度別統計
・ 診断年別
・ 部位別
・ 男女別
・ 年齢別
ホームページにて公開しています

初級 (主要 5 部位: 胃・大腸・肺・乳・肝)
中級 (全がん) **がん診療拠点病院指定要件**
→ 主要 5 部位以外の UICC TNM 分類、病期分類、
取扱い規約の理解



今年度 2 名
中級試験合格

◆院内のがん登録集計 (2018 年診断_573 症例)



ICU（集中治療）病棟での 早期離床に向けた取り組み

リハビリテーション科 主任技師 前田 和崇

どんなに元気な人であっても、病気になって寝たきりになると体が弱ってしまいます。病気やケガがあるからといって寝たきりのままでいると、さらに様々な合併症が出現し、元の生活を送ることが難しくなってしまいます。このような状態を防ぐために、入院(手術)後なるべく早期にベッドから起きて座ったり、立ったり、歩いたりすることを早期離床と言います。

ICU 病棟では、既に発症された、又は手術直後の重症な患者さんが多いため、病状をしっかり把握しながら早期離床を行うことが大切です。当院では平成 29 年度より 365 日リハビリテーション体制をスタートし、平成 30 年度より ICU へ専属のリハビリスタッフを 2 名配置しています。看護師と協力することで、ICU に入院してから離床開始までの期間も短くなっています。



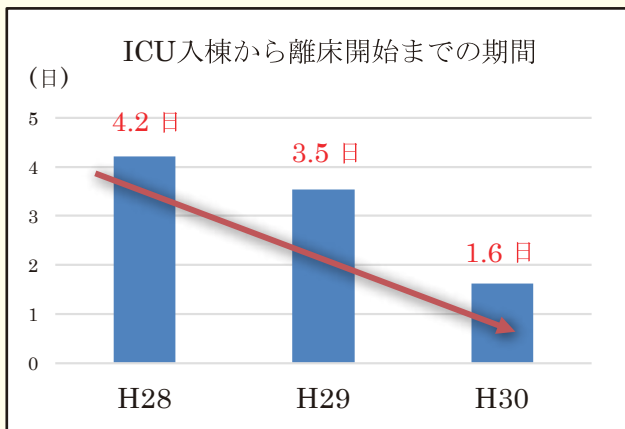
毎朝、ICU 看護師と一緒に病状を確認します。



主治医の指示を確認し、離床目標を立てます。



座るだけではなく手や頭を使うような活動（認知活動）を取り入れています。



離床開始までの期間が年々短くなっています！



ICUのリハスタッフが、昨年度の長崎県作業療法学会で報告しグッドデザイン賞をいただきました！

秋刀魚ときのこの炊き込みご飯

管理栄養士 磯本 朗



秋から冬にかけて、実りの多いこの季節はおいしい食材がたくさん！まさに「食欲の秋」ですね！
今回は秋の味覚をふんだんに使ったレシピを紹介します。



健康のPoint!

さんまに含まれるDHAやEPAといった不飽和脂肪酸が豊富に含まれ、血中脂質の改善や冠動脈疾患予防に効果があるといわれています。

また、さんまは食事からしか摂ることのできない必須アミノ酸をバランスよく含み、効率の良いたんぱく質源になるのも特徴です。ビタミンA、E、D、B12などのビタミン類も豊富に含まれます。

このようにメリットの多い食材ですが、市販されている商品の中には、長く保存するために塩漬けされたものも多く、取り入れ方次第では塩分を過剰に摂取してしまう可能性もあります。

献立のバランスを見て、上手に取り入れたい食材ですね。

【材料(5人分)】

米	3合	薄口しょうゆ	40ml
さんま	2尾	みりん	大さじ1
塩(塩焼き用)	少々	酒	大さじ1
しめじ	小1パック	塩	小さじ1/2
しょうが	3かけ	いりごま	少々
だし汁	3合分弱 (350ml程度)	青じそ	5枚

【栄養素】

エネルギー：365kcal
たんぱく質：10.1g
食物繊維：7.1g
食塩量：1.8g

【Point】

Point ①

さんまは塩漬けにされたものではなく、生のものを使用し、塩分を抑えましょう。物足りないときはカボスやスダチなどの柑橘類を添えて適宜使用しても美味しく食べることができます。

Point ②

さんまは一緒に炊き込むより、別で焼いて最後に混ぜ込む方が臭みが抑えられます。

Point ③

きのこはシメジに限らず、椎茸やまいたけ、エノキなど、種類を変えてもOK。

【作り方】

- ① 米をとぎ、ざるに上げる。
- ② だし汁に薄口しょうゆ、みりん、酒、塩(★)を加える。
- ③ 炊飯器の内釜に①と②と薄切りにしたしょうがを加え、石づきをとったしめじをほぐしてのせ、白米と同じように炊く。
- ④ サンマを半分に切り、塩を振ってグリルで両面を焼き、焼きあがったら頭と骨と内臓をきれいに取り除く。
- ⑤ 炊きあがったご飯に④をほぐすように混ぜ、約5分蒸らす。器に盛り、いりごまと包丁でせん切りにした青じそをのせる。



外来受診時間

午前8：45～午前11：00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

休診日

土・日・祝日

発行／長崎県島原病院

(広報委員会事務局：地域医療支援センター)

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町7895番地
TEL 0957-63-1145(代表) 内線116 FAX 0957-63-6544
URL <http://www.shimabarabyoin.jp/>